

謹賀新年



第149号
 2023年1月1日
 NTT 労組退職者の会
 香川県支部協議会
 TEL 087-821-7222
 FAX 087-802-5995
 発行責任者 下河 進
 編集責任者 石川正治
 e-Mail アドレス
 H・P アドレス
 ※両方のアドレスは、
 枠外フッターに記載



「丸亀城」 撮影：窪田克己



NTT 労組退職者の会
 香川県支部協議会
 会長 下河 進

会員の皆様には新年を健やかに迎えられたことと拝察します。
 昨年はコロナ禍で多くの行事や親睦・交流の場も減り、会の活動も停滞するなかで参院選や生活状況調査のご協力に感謝します。
 会員の高齢化が進み、活動のあり方を見直し、接点を拡大し血の通いあう組織づくりを目指します。
 今年も統一自治体選挙勝利や、退職者の会へのご協力をお願いするとともに、会員皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

昭和15年志度町生まれの82歳、伊勢田敏男さんにお話を伺いました。
 当時のメジャースポーツ野球にのめりこみ、志度商業高校の野球部に進学しセカンドで1番を打っていました。憧れの甲子園を目指していましたが、県予選で小豆島高校にまさかの敗戦、甲子園の夢を絶たれます。



ハンプロ野球「電電四国」で活躍

しかし、その実力を認められ、電電公社に採用され、ノンプロの電電四国で活躍します。社会人野球愛媛大会で首位打者を取ったことや、電電公社の硬式野球大会の準決勝でさよなら二塁打を打ったこと、優勝して後楽園球場の大会に出場したことなどは、当時の懐かしい思い出です。

その後、高松電話局でも野球部に所属、香川大会で優勝し、全国大会に出場するなど大好きな野球を楽しみます。
ゴルフはHD3 山越ゴルフ場勤務
 40歳ごろからゴルフに興味を持ち始めました。ちょうど電話局の横に山田という練習場があったのでそこで練習に励み、ハンデキヤップも3まで高め、また高松国際カントリー倶楽部閉鎖前のクラブチャンピオンになります。
 その実績を買われてか、四国アセットプログラミングに転籍します。アセットプログラミングが不動産部門の他にゴルフ部門を立ち上げたのです。山越ゴルフ場で3年間勤めます。
 当時は、電電公社でもゴルフが盛んで、毎年12月29日は恒例のゴルフ大会です。毎回大勢の腕自慢が参加し一大イベントとなっており、商品も多数用意しましたので評判でした。世話役として15年間かかわったこともいい思い出となっている様です。



聞いてみて 聞いてみて

社交ダンスにはまる 伊勢田敏男さん

野球は元ノンプロ選手

人生をアグレッシブに楽しむ伊勢田さん

インタビュー・監修 吉田 勉

伊勢田さんは、野球にしてもゴルフにしても常に達成目標を立て、それをクリアすることを心掛けてきたといえます。
 今はダンス仲間90歳の先輩がいるのでその方を目標にしていきたいと語っています。人生をアグレッシブに楽しんでる伊勢田さんに学ぶことはたくさんあると思いました。



社交ダンスでストレスも解消

ダンスは心も体も健康 目標は90歳まで
 退職後は、囲碁と社交ダンスにはまっています。香川団体囲碁大会で、三年連続優勝をしたとのこと。70歳の頃から散歩ばかりでは能がないと思いつき、社交ダンスを思い付き知り合いがいる屋島西町のコミュニケーションセンターで始めました。今は白鳥同好会やダンスホールなどで年1回の発表会に向けて週3回くらい市内に踊りに行っています。
 ダンスは、姿勢がよくなりますので、身長が縮まないうし、汗をかくので体調に良く、みんなと話ができるのでストレス解消につながり、いいことばかりです。

かたい、固いんだよなァ～ 表情が すまいるスマイルなんやけど…の県支部協役員です



- ① 久保池 薫
- ② 幹 事
- ③ さぬき遍路編集



- ① 千田 建雄
- ② 事務局長
- ③ 組織・企画



- ① 石川 正治
- ② 副 会 長
- ③ 総務・教宣



- ① 下河 進
- ② 会 長
- ③ 統括・政治・共闘



- ① 丸尾 千鶴子
- ② 幹 事
- ③ 会計



- ① 富田 佳代子
- ② 幹 事
- ③ 総務・会計



- ① 高濱 正二
- ② 幹 事
- ③ 組織・レク



- ① 河本 光夫
- ② 幹 事
- ③ 共闘・会計



- ① 宮本 敏彦
- ② 名誉顧問



- ① 國方 勲
- ② 常任顧問



- ① 真鍋 功一
- ② 監 事
- ③ 会計監査



- ① 吉田 勉
- ② 監 事
- ③ 会計監査



年賀 絵てがみ 作・川北昭子

モットーは健康で無理せず楽しく
2022年度役員一同よろしくお祈りします
明けましておめでと〜うございます。
退職者の会香川県支部協議会総会から2
カ月余りが経過し、新たな年を迎えました。
総会のなかで「機関紙に役員紹介を」と
の発言があり、今回、香川県支部協議会常任
幹事会のメンバーを左記に掲載しました。
今年もコロナ感染が続きますが、役
員一同「健康で・無理せず・楽しく」活動を
進めたいと思います。
会員皆様のご協力、ご支援をお願いします。

当地区は、大正時代に観音寺駅から西への予讃線開業により集落と農地が二分され、大変な危険と不便さで先人は苦勞の連続でした。これまで何度も圃場整備計画がありましたが、全て立ち消えてきました。



空撮による広庄地区風景

1998年3月定年退職後、家業の農業に従事。稲作、最近はお麦を主体に作付けています。
現役時代の1991年から水利組合、土地改良役員、退職後は杵田町土地改良区理事4期、農業委員、その他農業関係役員、自治会役員を務めました。また、労働者友の会の評議員の世話役をさせて頂き、皆さんとの楽しい旅行も経験し、いい思い出となりました。



5条刈りコンバインの試運転

から鉄道より西側の圃場整備の話が持ち上がり、パイプライン完備の工事が1996年に完成。その後続けて国営ため池防災工事、地区内圃場整備工事2件実施。その中には昭和初期の20人の共有地権者による残存小作の処理があったことから、宮崎県や岡山県まで足を運び大変苦労しましたが無事に完成。30ha地区全体でパイプライン配水により94%強の圃場整備率となりました。
完成前には、油井営農支援組合を立ち上げ、私も含め高齢化に対応するために大型農機を導入。現在は3台目の5条刈り95馬力コンバイン、田植え機6条植ええで対応しています。
写真は3台目の試運転の様子です。
事業では事務局長、建設



西讃地区
牧野 忠弘 (85歳)

支え支えられたことに感謝
まだまだ、微力ながら地域発展のために協力

退職後、これまで地区のいろいろな世話役をさせて頂いていました。
現役時代から組合の同僚、諸先輩の方々、また地区内では行政各機関、各方面のご指導、ご協力のおかげで続けることができました。これからも健康に留意し、地域発展のため微力ながら協力していきたいと思っています。
最後に、退職者の会役員皆様の益々のご活躍、「さぬき遍路」編集部のご発展をお祈りします。



完成した真如山金剛禅寺山門

放送大学を卒業



坂出市 河田 正

退職して14年、子供たちは独立し、今は妻とのんびり暮らしています。退職後、放送大学に入学、3コースの学科を卒業しました。そこで考古学に触れ各地の古墳めぐりもしました。私の役割は孫の送迎と妻と野菜作りを楽しみむことで成果もそこそこあります。

老けないよう生きる



坂出市 吉田 正強

百種の仕事を指して、充実した日雇い仕事をしています。これも元氣な先祖のDNAのお陰です。昭和23年生まれですが75×0.8=60で来年、還暦とと思っています。

元氣が一番



土庄町 泊 満夫

小豆地区協会会長を引受けて13年目、会員数の減少、高齢化での会の運営、役員の後継者等切実な問題もあります。手配り者も5名の体制で頑張っています。年に一度の総会も3年ぶりに計画し、大変楽しみにしています。参加してホッとしたいの場所です。

私とカラオケ



高松市 喜岡美智子

小さい頃から唄が好きでコロナが来る迄歌っていました。ラジオで何回も唄い70歳と71歳の2年連続で四国大会に選ばれ、ドレスを着て唄いました。サンポートが出来てすぐ、大ホールで満員の前で着物を着て唄いました。いい思い出ばかりです。今は一人で淋しいです。

日常を生きる



高松市 三好 英治

退職して早や3年。これから旅行、バイクツーリング、スキー等趣味を楽しもうとした矢先、コロナで自粛せざるを得なくなり、今はバイク整備や干し柿、庭木の剪定等、日常を大切に孫の成長、サッカーW杯を楽しみ、自然体で生きていきたいと思っています。



会員の近況です。積極的にご応募ください。応募要領は、100字程度の原稿を、はがきかメールで投稿ください。(メールアドレスは1頁枠外に記載)

いろいろ思い彷徨



丸亀市 畑山 進

「何ができよんな」困った何もしよらん。「しゃんと歩いてよ」わかるとるわい、安全パトロール「あなたがやりな」やれるんやったら現役や、ママさんバレー「あなた、若いんやから」74歳の老人会。ストレス溜めずに、近所を彷徨しています。

絵手紙で心豊かに



観音寺市 大矢 環

「ヘタでいいヘタがいい」を素直に信じ、絵手紙を習い始めて7年余り。静かに筆を持ち集中することは、脳や心にも適度な刺激になります。教室には、先輩も多く、まだまだ若手です。年齢差を超えてのおしゃべりやランチ、美術館めぐりなども楽しんでいます。

全国旅行支援で大山へ



高松市 石川 正治

11月にコロナの第8波の兆しがあるなか、全国旅行支援を利用して大山へ一泊の撮影旅行をした。ホテル代は五千円安く千円のサービス券付き。随分得した気分になって家族に土産も買って、妻には悪かったが私にとつて贅沢な二日間を楽しんで過ごさせてもらい感謝。

予期せぬ15周年表彰



高松市 國方 勲

先の県協総会で、予期せぬ「役員15年表彰」を受けました。4年前の総会で、会長を退任してからの3年に及ぶ闘病生活を余儀なくされ、体重10キロ減は回復するに至っていません。体力に多少の不安はあるが、会の活動には、体力が許す限り微力を注ぎたい。

70歳の近況報告



さぬき市 小谷 準子

退職したらアレもして、これもしてと夢見ていたのに苦しい年金生活と、病院の送迎、自治会のお世話等々、相変わらずバタバタと忙しい毎日をおすごしています。高松大学のオカリナとヨガの講座は休みながらも、6年間通っています。10年後も続いていますように！

近況報告



三豊市 十鳥 義正

昭和47年7月、徳島統制無線中継所に就職し、四国を転勤して、最後の10年ほどは高松に転勤して自宅から通勤する事が出来ました。平成元年退職して年金生活をしています。親が残してくれたみかんやぶどう畑の維持管理のため草刈消毒等を運動がてら励んでいます。今年で69歳。無理せずにぼちぼちやって健康に生活しています。

私が学んだ二つのこと



高松市 小笠原 坦

ご縁があって、丸亀の介護老人保健施設で、超高齢の方のお世話のお手伝いをさせてもらっています。長年、超高齢の方と暮らしてきて、教えられたことが二つあります。第一は、年が幾つになっても自分で出来ることは、自分ですること。第二は、動ける人は、まず動くことです。

時代を超えた教え



三木町 三木 益子

最近、NHK for SCHEOLを見ました。私達のメディアは教科書や黒板の文字で吸収しましたが、踊りや歌を時代劇と組ませ、伊能忠敬に焦点を当てたものでした。彼は年齢でなく経験で業績をあげました。私もこういうパワーを持続したい昨今です。

サーキットとキャンプ場開設



東かがわ市 小路 寿彦

コロナ禍の中、東かがわ市小砂でサーキット場とキャンプ場を開設し営業しています。殆どの方がハーレーやバイクで参加。工事には多額の費用がかかりましたが、2400坪で照明設備もあります。開設当初は私が担当していましたが、来客が土・日・祝のみなので、最近では息子が兼業で担当しています。

「ありがとう」近況

返信ハガキ 小野 桂子 (Kaiko Ono) 88才のお祝いを有難うございます。いつか大変お世話になりありがとうございました。皆様のおかげで毎日元気に過ごせています。何かにお礼申し上げます。感謝申し上げます。

返信ハガキ 岸阪 亮 (Ryo Kishibe) 貴方の御祝おめでとうございます。65才で退職して早もつ7才です。2年前、5年前に大動脈弁を手術して現在は4ヶ月ごとに血液検査をしています。又妻の里の水田、畑、雑草を農作業に精を出しています。これらも体に気を付けてがんばります。

返信ハガキ 井内 範明 (Norimasa Inoue) この度は古希のお祝いを頂戴し有難うございます。振り返るとおとこの間の欠片でした。男性の平均寿命までこの先残り11年余りかと思うと日々充実した生活を送らねばと改めて思います。

高松市・米寿 (8月)

綾川町・喜寿 (9月)

丸亀市・古希 (6月)

作品展 見ませ見せまじょ



「大空へジャンプ」 小野 純一・多度津町



「遍路」 久岡 美佐男・高松市



「今は昔」 石川 正治・高松市

秋の「塔の丸」、シコクザサの海原を行く！



10月の「里山の会」の月例会は初めての県外でした。

四国剣山山系の一峰「塔の丸」標高1713mです。1400mの登山口から、明かるい広葉樹のなだらかな道も20分ほどで傾斜がきつくなるが、ブナ林を抜け、2時間程で道は平坦になり、目の前一面に、シコクザサの大海原が広がります。剣山に次郎笈、三嶺の山並み反対側は、遠く高松市のビル街に屋島、瀬戸内海まで、360度の眺望と雄大な姿に圧倒されます。

爽やかな風に吹かれながら昼食とコーヒタイムは最高！また訪れたい「塔の丸」でした。(川北昭子・記)

里山を歩く会

いさいさ サークル活動

悩みながら腕を磨き、年1回展示会を開催

絵てがみは四季の植物や動物などを題材に、自分の思い感じる事を描いていく、上手でないが出来あがりにつとりする事も。コロナ禍で参加者も減少して少人数で行っていますが、指導の先生が丁寧に教えていただき当初より腕を上げて来たかと思えます。

作品は、年に1回喫茶店等をお借りして展示会を開催し、昨年10月には第4回目を開催しました。月に1回の絵てがみ教室ですが皆さん楽しく悩みながら腕を磨いています。これからもいろいろチャレンジし頑張りたいと思います。(河本光夫・記)

「絵てがみ教室」 代表：植松 信子
教室の場所：丸亀町一番街東館4階



絵てがみサークル

当時のスローガンは、「時短」「社会保障」や「腐敗政治の追放」など、今も変わらない課題です。仲間たちと前年の東京佐川急便を巡る汚職事件の、金丸信自民党副総裁人形を作成して参加したことです。



朝日新聞に掲載された写真

思い出のショット

1993年の第64回メーデー

高松市 高濱 正二

阻止」の文字もあります。朝日新聞に掲載されましたが、人形を持っているので顔が見えないのが残念！

七色に仏の山の紅葉かな
紅葉映ゆ仏の庭の夕べかな
小林 芳子



(草の芽句会のみなさん)

山紅葉夜来の雨に極まれり
借り畑を戻して淋し年用意
吉崎 範子

川原 貞子

コロナ禍の
帰期の成らずに去年今年
老いてなほ
嬉しきことの年賀状
川原 貞子

子と孫に囲まれ米寿夫の春
迎へたる小さき仏壇年の暮
馬場 禮子

尺八の音色時おり菊日和
大黒 文子

七き友の声にも聞こゆる鳴く
石路咲いて石灯笼に日の射せる
小山 剋子

枯すすき靡かせ南へ電車過ぐ
DMは終活セミナー 枇杷の花
森 純子

草の芽句会のみなさん

編集後記

カラー版さぬき遍路の原稿で一番悩むのが「会員便り」で、総会や編集委員会でも意見が出される▼しかし、会員の近況がわかることで親しみをもって読まれているので、これまで何とか苦労しながら編集委員会を努力してきた▼新たな年を迎えマンネリ化を改善することや、悩みや苦勞をできるだけ減らせるよう検討していきたい
(石川正治・記)